



東京大学・十和田市立中央病院共同研究締結式

地域医療連携部 田中裕之



東京大学大学院医学系研究科「イートロス医学講座」では、病気や心理的、社会的な問題などで食べ物が食べられず不健康になることを「イートロス」と定義し、その治療・予防について2020年より十和田市立中央病院・附属とわだ診療所と共同研究を行ってきました。

この度、新型コロナウイルス感染症が一旦落ち着いた9月22日(木)に、東京大学大学院の星 和人教授に十和田市へ来訪いただき、3年越しの「共同研究締結式」を執り行いました。締結式にあたり星教授は「長く深く十和田市と研究を行っていききたい」と挨拶されました。

また、9月23日(金)、24日(土)には、上記の共同研究としてカテキンが唾液に与える影響を調査する研究がスタートし、十和田市民45名をモニターに2日間の調査を行いました。当日は東京大学大学院、スポンサー企業の伊藤園からも研究員が来訪され、厳格な環境のもとサンプルデータの採取が行われました。



「連携の集い&十和田市民あんしん生活活用講座」開催報告

地域医療連携部 田中裕之

9月22日(木)、十和田市立中央病院第10回連携の集い&第3回十和田市民あんしん生活活用講座が当院別館2階とZOOMのハイブリッド形式で行われました。

東京大学大学院医学系研究科 感覚・運動機能医学講座の星 和人教授を講師に「いつまでも美味しく「食べる」を実現するために」をテーマに講演をいただきました。参加者は184名(来場者98名、Zoom 視聴86名)青森県医師会上十三支部の小嶋康彦会長からは「3年ぶりに皆さんにお会いできた、対面で連携の集いを開催できて大変うれしく思う」と感想をいただきました。



「レジナビフェア 2022 仙台」に参加して

2年次研修医 芳賀 悠

こんにちは。研修医 2年目の芳賀悠です。10月2日(日)に仙台国際センターで行われたレジナビフェア 2022 仙台に太田和摩先生と後輩の高橋瑞葵先生と事務の村上さんと参加してきました。



今回は2年ぶり開催となり、全国から研修病院が参加していました。コロナ禍ということもあり、例年と比較して学生の人数は少ないことが予想されましたが、会場は想像以上に賑わっており、各病院が自分の病院をアピールしようと声をかけていました。

当院のブースにも青森出身の学生から沖縄出身の学生まで地域問わず説明を聞きに来ていただきました。学生からの様々な質問を通し、私自身も改めて頑張っていかなければと思えました。

より魅力的な病院となるよう、これからも励んで行きたいと思います。



当院整形外科診療部長 板橋泰斗先生が講演を行いました。

リハビリテーション科 技師長 清水涼子



整形外科
板橋泰斗診療部長

10月12日(水)に十和田市保健センターにて開催された「さわやか講座」に於いて、整形外科の板橋医師が「骨粗しょう症ってどんな病気？～診断、検査、治療について～」の講演を行いました。潜在的な骨粗鬆症患者の早期発見、早期介入についてや、診断、治療、治療合併症等について、お話していただきました。その後、リハビリテーション科の川門前 PT による「高齢者の運動指導について」の講演が行なわれ、転倒予防や体幹筋、下肢筋力運動の大切さについてお話され、中村 PT、榎 PT、清水 PT、附田 Ns とともに会場の皆様と一緒に運動を行いました。

市民の皆様の関心が高く、当日は定員 80 名以上の申し込みがありました。地域医療連携部 田中社会福祉士のご協力のもと会場設営を行い、講演会は介護関連施設へも同時 WEB 配信させていただきました。地域の皆様の健康延伸に少しでもお役に立てるよう骨粗鬆症リエゾンチームでコツコツ(骨骨)と活動していきたいと思っておりますので、お気軽にお問合せ頂けると幸いです。



リハビリテーション科
川門前 洸太 主任理学療法士



外来担当医表 ※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>